

経営比較分析表（平成30年度決算）

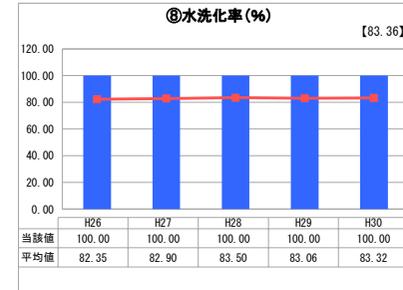
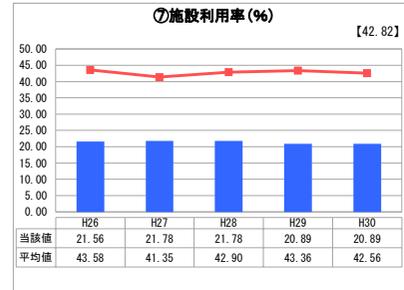
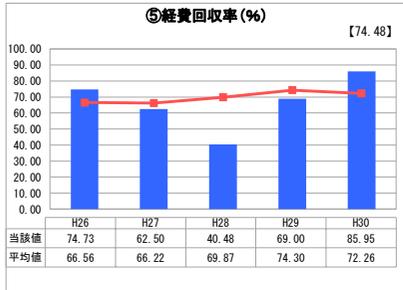
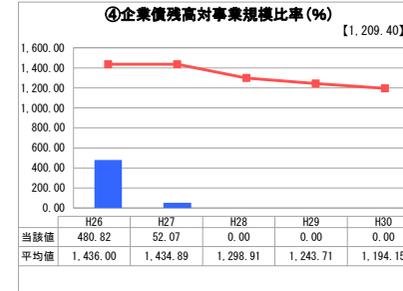
沖縄県 渡嘉敷村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	33.09	100.00	2,754

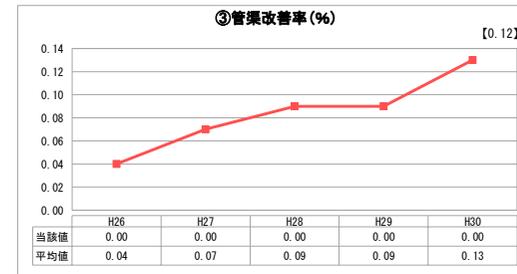
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
725	19.23	37.70
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
230	0.14	1,642.86

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①交付金事業の導入により収支比率が大きく変動している。総収益に占める料金収入の割合が40%~54%で各年度まちまちで、H26年度の料金改定で60%を超えた。
- ②起債残高が減少傾向にあること、H26年度に行った料金改定により収入増分さらに減少している。
- ③H27年度からH29年度にかけては交付金事業の導入により回収率が類似団体平均値より低い数値となっている。
- ④交付金事業が減った為、汚水処理原価がしている。他の年度は類似団体平均値に近い数値となっている。
- ⑤夏場の観光客等による集中的な処理人口増加を見込んで計画してあるが、定住人口減少等により全体的に低い数値となっている。
- ⑥今後も100.0%を維持していく。

2. 老朽化の状況について

共用開始後20年以上経過し、H21年度に管渠調査をし、H30年度はストックマネジメント計画策定業務をした。今後も継続して管渠調査及び改築更新を実施していく。

全体総括

現在、長寿命化計画に基づいた機械設備や、電気設備等の改築工事を進めており、H31年度に完了予定。H32年度以降は、ストックマネジメント計画に基づき、老朽化施設の維持管理や経費節減に努め、健全な事業運営を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。